

2018
2 | 25
(第434号)

リサイクル通信

The Reuse Business Journal

発行所 (株)リフォーム産業新聞社 〒104-0061 東京都中央区銀座8-11-1
TEL 03(6252)3451 FAX 03(6252)3461
発行人 加賀光次郎 (毎月2回発行) 年間購読料13,000円

Gardia

シェアエコ・フィンテックのリスク保証

保険会社がカバーしない領域に対応

シェアリングエコノミーやフィンテックなど新しいビジネスのプレイヤーが今、こぞって申込んでいるサービスがある。ガルディア(東京都港区)の提供する保証サービスだ。保険会社がカバーできない領域のリスクを対象としている。リユース市場でも注目を集める即時買取アプリ「キャッシュ」も、利用している内の一社だ。

CASHも未発送保証に

バンクの運営する即時買取「キャッシュ」は、スマホでアイテムの写真を撮影すると、それに応じた買取金額を即時に受け取れる。アイテムは2週間以内を送るか、キャンセル料金を支払えばいい仕組み。だが、中には商品を送ってこなかったり、キャンセル料金を支払わないユーザーが

いる。アイテムを送る前におカネを受け取れるサクッと感がキャッシュ人気の核。しかしその特性上、リスクと付き合っていくことになる。

そこで利用するのが、ガルディアの保証サービスだ。毎月一定の保証料を支払っておくことで、バンクが1カ月ほどユーザーに督促を行っても反応がない場合、ユーザーに支払った金額を、ガルデ

ィアが保証する。生まれたてのビジネスに対応

損保と似た仕組みだが、既存の保険会社はキャッシュのような生まれたてのビジネスに対応していない。リスクが読めないことや、

保険業法の縛りがあるためだ。また、保証を提供する会社は他にもあるが、こちらも「家賃保証」と「金融関係」程度しか見当たらない。ガルディアは、シェアリングエコノミー、レンタル、サブスクリプション、フィンテック、リテールテックなど新しいビジネスを対象に損害をカバー。イノベーターの挑戦を支える。

不正利用者の検知システムを
ガルディアは保証を提供するだけではない。「不正利用者」検知システムをこれからつくる予定だ。

キャッシュのようなマイクロファイナンス

フリークアウトHDグループ会社

ガルディアの親会社は、ネット広告最適化を手掛けるフリークアウト・ホールディングス。売上高120億円のマザーズに上場している企業だ。ガルディアは2017年1月に設立されたばかりの会社だが、保証を行う資金力があるのは、同グループの一員のため。グループに優秀なエンジニアが多いことから、不正検知のシステムの構築にも取り組む。

のサービス、時計やブランドバッグのサブスクリプション(定額レンタル)……こうした新サービスの事業者がガルディアを利用すると、自ずと不正利用者の情報が集まってくることになる。これらをデータベース化し、保証サービスの利用者にフィードバックする。

将来的につくろうとしているスキームは以下の通り。ユーザーがサービス利用を申し込むと、ガルディアに情報が飛ぶ。不正利用のDBをリアルタイムで照会し、ユーザーの与信を判定する。ガルディアの利用企業は、新規ユーザーが利用する前に、リスクを把握することができるようになるというわけだ。

似たような仕組みとして、金融機関が利用するCICやJICCのサービスがある。クレジットカードやローンの申し込み時に、与信のためにユーザーの信用情報が照会できる。しかし、例えば多重債務者と、2万円程度の小口の金額を支払

「1〜3年の間に、保証サービスを利用してくれる賛同企業と共々に、新時代の不正検知データベースをつくりたいと思っています」



「挑戦を応援したい」と話す小山裕社長

(小山社長)